



JQA-2631 (本社工場)  
JQA-EM3548 (本社工場)

水系シリコン樹脂塗料

# 水系 カスタムシリコン II

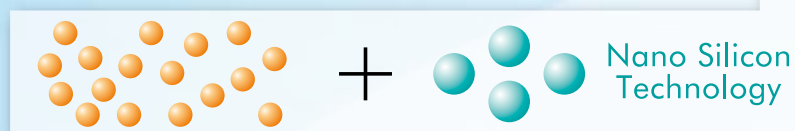
MIZUKEI CUSTOM SILICON II



# ナノシリコンテクノロジーの応用により、 経済的な屋根用塗料を実現。

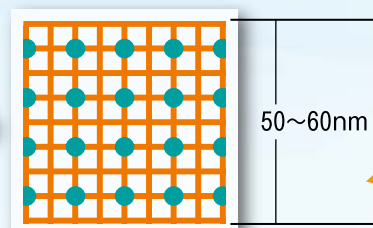
## ナノシリコンテクノロジー

アクリル成分とシリコン成分をナノスケールで均一に融合させ、シリコン樹脂のポテンシャルを最大限まで引き出すことで優れた耐久性を発揮！！

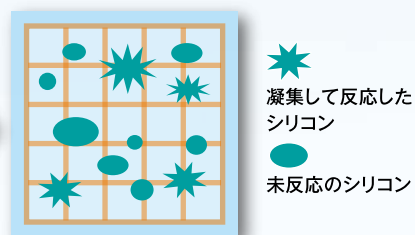
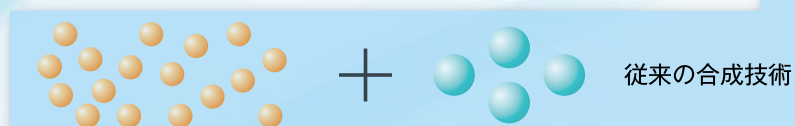


○ アクリル樹脂原料    ● シリコン樹脂原料

均一に融合



従来の技術では反応性の違うアクリル成分とシリコン成分を均一に合成することは不可能でした。

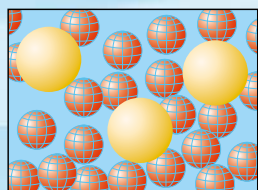


# 水系塗料が塗膜になる過程

塗料は主に樹脂、顔料という原料をブレンドして作られています。  
水系ナノシリコンのような水系塗料の樹脂は、エマルジョンと呼ばれ  
下図のような球体の粒子の形状をしており、水に分散されています。

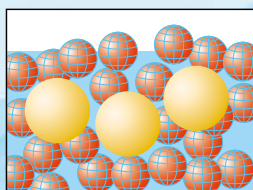
1

水中に分散している  
樹脂粒子が、水の蒸発と  
ともに接近・接着



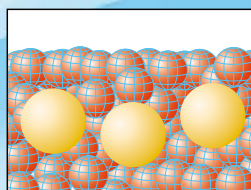
2

水の蒸発がさらに進むと、  
樹脂粒子が変形し  
一体化（融着）を開始



3

すべての樹脂が  
完全に一体化、  
連続塗膜を形成



樹脂



水



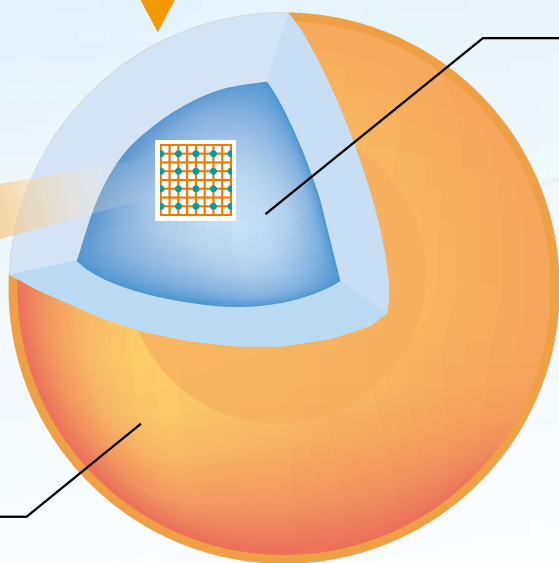
顔料

コア

## 信頼のコアシェル技術

硬く耐候性に優れる「コア」を  
軟らかく付着性に優れる「シェル」で  
包み込むことによって、  
高耐候性と付着性を両立。

シェル



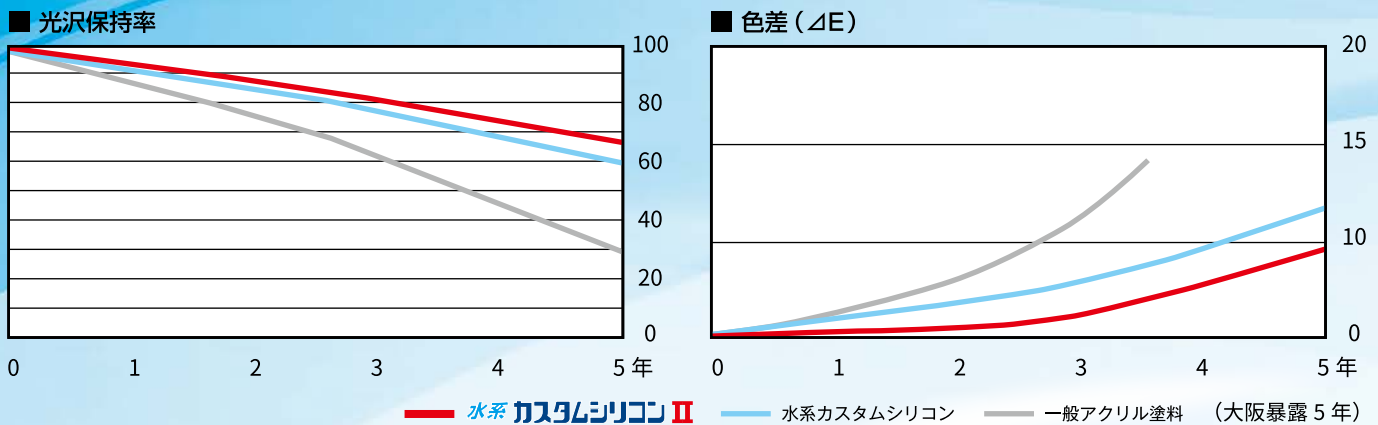
# Nano Silicon Technology

● ナノシリコンテクノロジー ●

## 特長

### 耐候性

従来より大きな結合エネルギーの「シロキサン結合」で架橋させているため、抜群の耐候性を示します。

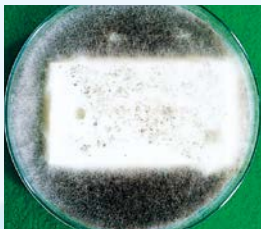


### 耐汚染性

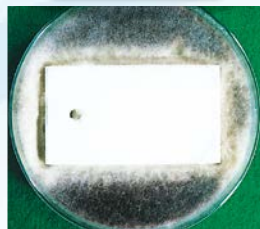
汚染物質に強いシリコンならではの特性が、屋根をしっかりと保護します。劣化を促進させるカビや藻を長期間にわたって防ぎます。

#### ■ 防カビ試験

カビをよせつけません



一般エマルジョン塗料



水系カスタムシリコン II

#### ■ 耐汚染性

0 -2 -4 -6 -8 -10 -12 ( $\Delta L$ )

■ 耐汚染性 (6ヶ月)

水系カスタムシリコン II

一般エマルジョン塗料

# 用途

- 住宅屋根用化粧スレート、波形スレート、プレスセメントがわらの塗り替え
- アスファルトシングルの塗り替え
- 乾式洋瓦(モニエル・スカンジア瓦)の塗り替え

## 【注意】

1. 積雪地区での塗装は不可です。
2. 日本瓦・ゆうやく瓦への塗装は避けてください。
3. ノンアスベスト波形スレートへの塗装は、エポックマイルドシーラーもしくは1液ノンアス用シーラーをご使用ください。
4. 新しい住宅屋根用化粧スレート(無機塗膜塗装仕様)への塗装は、はじく場合がありますので避けてください。
5. 乾式洋瓦(モニエル瓦・スカンジア瓦)を塗装される場合は、必ずスラリー強化プライマーIIのカタログをご参照ください。

## 安全性

水で希釈するので、臭いはもちろん有害物質を揮発することはありません。  
小さなお子様がいるご家庭でも安心してご使用いただけます。

## 高い経済性

フッ素樹脂に次ぐ性能を持つシリコン樹脂でありながら、低コストを実現。

## 自由な色調

標準色23色、銀黒色3色に加え、艶消し色7色から選択可能です。  
また、カスタムメイドによりお客様だけの色をご提供します。

# 性能

硬度	鉛筆硬度	F~H
付着性	4mm角クロスカット付着テープはがれ	異常なし
耐水性	水道水常温1ヶ月浸せき	異常なし
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム水溶液 常温7日間浸せき	異常なし
凍結融解サイクル	-20°×16Hr ⇄ 20°×8Hr 20サイクル	異常なし

# 塗装仕様

※ 全ての塗装仕様内における塗付量に希釈水は含まれていません。

## 住宅屋根用化粧スレート・波形スレート(アスベスト含有)・プレスセメントがわら

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶)	塗装間隔(23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下塗り	水系パワーシーラーII 16kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.20	1	80~107	—	2h以上	—
上塗り	水系カスタムシリコンII 15kg	0.7~1.5kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	42~50	2h以上	—	12h以上

- ※ 基材劣化が激しい場合は、基材洗浄を充分に行い、エポックマイルドシーラーをご使用ください。
- ※ 色替えの場合は、シーラー/下塗り/上塗り塗装をおすすめします。
- ※ 旧塗膜が活膜の場合は、シーラーは必要ありません。
- ※ 銀黒色仕上げの場合は、ハケ・ローラー塗りが可能ですが、むらにならないようにローラー目は同一方向に仕上げてください。
- ※ 銀黒色仕上げの場合は、劣化したプレスセメントがわらの下地調整には、「水系ルーファーEX」をご使用ください。

■銀黒用下塗り(銀黒3号・5号・8号を施工する場合はシーラー/下塗り/上塗り塗装をおすすめします)

下塗り	水系カスタムシリコンII 下塗り #10 グレー 15kg	0.7~1.5kg	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	1	84~100	—	2h以上	—
-----	----------------------------------	-----------	-----------------	-----------	---	--------	---	------	---

## アスファルトシングル

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶)	塗装間隔(23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下塗り	水系アスファルトシングル用 下塗り 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.35~0.4	1	38~43	—	6h以上	—
上塗り	水系カスタムシリコンII 艶消し 15kg	0.7~1.5kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.2~0.3	2	25~38	4h以上	—	16h以上

- ※ 見かけでは乾いているようでも、重なり部分に入った塗料は乾燥しにくいので再度溶出するおそれがあります。規定の塗付量を守り、重なり部に入らないようにしてください。
- ※ アスファルトシングルの上塗りには、必ず艶消しをご使用ください。

## 乾式洋瓦(モニエル瓦・スカンジア瓦)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶)	塗装間隔(23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去し、清浄な素地面とする。								
プライマー	スラリー強化プライマーII 主剤 6kg 硬化剤 2kg	6kg	ハケ・ローラー エアレス	0.13~0.18	1	44~62	—	8h以上	—
上塗り	水系カスタムシリコンII 15kg	0.7~1.5kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	42~50	2h以上	—	12h以上

- ※ 乾式洋瓦の塗り替えは、素地調整に留意すべき点があるため、必ず弊社スラリー強化プライマーIIもしくはエポックマイルドシーラーのカタログをご参照ください。
- ※ 素地調整に関する詳細は弊社スラリー強化プライマーIIもしくは、エポックマイルドシーラーのカタログの塗装手順をご参照ください。

## 住宅屋根用化粧スレート・ノンアスベスト・旧タイプの波形スレートで劣化が著しい場合の下塗り材

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶)	可使時間 (23°C)	塗装間隔(23°C)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1 (~2)	73~110 (36~55)	8h以内	— (4h以上)	5h以上 7日以内	—

- ※ 20年以上経過した基材等、基材表面が劣化し、特に脆弱になっている場合はエポックマイルドシーラーを2回塗りしてください。
- ※ エポックマイルドシーラーは、弱溶剤系塗料です。

# 塗装工程

基材	住宅屋根用化粧スレート、 波形スレート、 プレスメントがわらの塗り替え	ノンアスベスト 波形スレート	アスファルト シングル	乾式洋瓦 (モニエル瓦)
下塗り	水系パワーシーラーII または エポックマイルドシーラー	1液ノンアス用シーラー または エポックマイルドシーラー	水系アスファルト シングル用下塗り	スラリー強化プライマーII または エポックマイルドシーラー
上塗り	水系カスタムシリコンII			

※ 乾式洋瓦への塗装は、素地調整に留意すべき点が多いため、施工に際しては必ずスラリー強化プライマーIIもしくはエポックマイルドシーラーのカタログをご参照ください。  
 ※ 住宅屋根用化粧スレートには、1液マイルドエポシーラーも施工可能です。

# 荷姿

水系カスタムシリコンII 上塗り	..... 15kg	水系カスタムシリコンII 下塗り #10 グレー	..... 15kg
水系パワーシーラーII	..... 16kg	1液マイルドエポシーラー	..... 15kg
1液ノンアス用シーラー	..... 15kg	水系アスファルトシングル用下塗り	..... 15kg
スラリー強化プライマーII	..... 8kgセット (主剤 6kg 硬化剤 2kg)	エポックマイルドシーラー	..... 11kgセット (主剤 10kg 硬化剤 1kg)

## ケレン・清掃・洗浄の方法

- ホコリ・ゴミ・苔等を、ワイヤーブラシ・タワシ・高圧洗浄機等で丁寧に取り除く。波形スレートの溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺は特に注意する。  
 ※ 黒くなっている場合は、全面をタワシでこすり、スレート生地を出す程度まで付着した異物を取り除く。  
 ※ ひび割れや防水の必要な箇所は、清掃後シーリング材で充填しておく。  
 (シーリング材は、ウレタン系・ポリサルファイド系をおすすめします。シリコン系は不適)
- 古い塗膜のある時  
 ※ 浮き上がった塗膜（アクリル系でもウレタン系でも同様）は、ワイヤーブラシでよくケレンし、活膜だけを残す。  
 ※ 旧塗膜の艶が良くチョーキングしていない膜は、サンドペーパーで表面を軽く荒らす。

## 施工上の注意点

### 【塗装・養生】

- エアレス吹き付けは中圧力(8~10MPa)程度がよく、圧力調整のできる機種で中位に調整してください。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- ※ 付近の建物や車など、付着してはいけないものはあらかじめ養生してください。
- ※ 軒先塗装は圧力を低下させ、あて板などで養生してください。
- 塗料やミストが、ガラス・アルミサッシなどに付着したときは、すぐにウエス等に水をしみ込ませてふき取ってください。
- ※ 乾いたときは、ラッカーシンナーで傷つかないようにふき取ってください。
- ※ 自動車等に付着したときは早急に水洗いしてください。
- ハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
- ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗分量・表面肌が異なるために若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット、同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取っておき、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 水系パワーシーラーIIと水系カスタムシリコンIIは別々のハケ・ローラーをご使用ください。
- 塗装後の器具およびハケ・ローラーは直ちに水洗いしてください。なお、落ちにくい場合はラッカーシンナーで洗浄してください。

### 【施工】

- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。(特に塗装後3~5時間程度は絶対に雨などにあわないようにしてください。)
- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保してください。
- ※ 特に11.12.13は塗膜の変色および剥離の原因になりますので充分ご注意ください。
- 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がりが不良等が起こりますのでご注意ください。
- 塗装間隔は、被塗物の立地条件や気象条件等に大きく左右されますので、各工程の乾燥を充分確認の上、次工程に進んでください。
- 夏季など、瓦の表面温度が特に高い場合(手のひらをあてて熱さを感じる程度)は、放水してから塗装してください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。

### 【縁切り】

- 水切り部で上下の瓦が塗料で接着している箇所は、スクレーパー等で縁切りを行ってください。(瓦と瓦の間に隙間がないと雨漏りや敷板が腐るおそれがあります。)

### 【保管】

- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 開缶後は直射日光を避け、皮張りした場合は、必ず取り除いてください。(一度乾燥した塗膜は水に溶けませんのでガン詰まりやブツの原因となります。ご注意ください。)
- 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。



## 水谷ペイント株式会社

本 社 ☎532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎(06)6391-3151  
FAX(06)6393-1101

大 阪 支 店 ☎532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎(06)6391-3401  
FAX(06)6391-3456

西日本開発部 ☎532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎(06)6391-3401  
FAX(06)6391-3456

東 京 支 店 ☎101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎(03)3865-8177  
FAX(03)3865-8760

東日本開発部 ☎101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎(03)3865-8177  
FAX(03)3865-8760

北関東支店 ☎348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22 ☎(048)563-0355  
FAX(048)563-5124

中 部 支 店 ☎486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6 ☎(0568)85-3551  
FAX(0568)85-3556

広 島 支 店 ☎734-0022 広島市南区東雲1-13-16 ☎(082)284-6556  
FAX(082)283-0017

福 岡 支 店 ☎811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1 ☎(092)611-5731  
FAX(092)621-2301

仙 台 営 業 所 ☎984-0042 宮城県仙台市若林区大和町1-22-36 ☎(022)782-6770  
FAX(022)232-6871

札 幌 営 業 所 ☎003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 ☎(011)824-5711  
FAX(011)824-6464

工 場 本 社 ・ 埼 玉 ・ 中 部 ・ 広 島 ・ 福 岡

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



**06-6391-3039**

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

特約店